



BASF ジャパン 株式会社様

[製造業]

ライフスタイルが変わった!

マッスルスーツが“自由時間を楽しむ”きっかけに

POINT

- ポイント -

- 働く従業員が安全に働ける環境づくりのための取り組み
- 25kgの原料を1度に100～200袋運搬。肉体的負担の軽減に貢献
- 慢性的な疲労が軽減。ライフスタイルの充実も実現

— 導入された経緯を教えてください。

弊社では、働く従業員が安全に働ける環境づくりを重要視しています。なかでも肉体的な負担を軽減することは、従業員の安全を守り、健康にもつながる、とても重要な課題だと考えています。会社としてこの課題を解決する方法を模索していたところ、マッスルスーツの存在を知りました。

— 職場ではどんな課題があったのでしょうか？

BASFでは数多くの品目を扱うことから、工場内には随時、さまざまな製品や材料が運搬されます。そのためすべての運搬が機械でおこなわれるわけではなく、たとえばベルトコンベアで流れてくる袋詰めされた材料をひとつずつパレットに積み上げていく作業は、人の力によっておこなわれています。我々の製品の袋の重さは、ひとつおよそ25kg。それを1～2時間の間に100～200袋をパレットに積んでいくので、結構大変なんです。現場では、実際に腰痛に悩まされる人も多くいました。

— 実際に導入されて、どのような効果がありましたか？

仕事をしていないときでも腰が重かったりひどい腰痛に悩まされたりしていましたが、マッスルスーツを導入してからは作業そのものが楽になっただけでなく、慢性的な疲れも少しずつ減っていくのを感じました。私の場合、疲労感が少なくなったことをきっかけに、仕事帰りに大好きなゴルフの練習にも行くようになりました。

— 今後、どのように活用していきたいですか？

私たちが現場で特に注力している従業員が安全に働ける現場の実現。そういう意味においてマッスルスーツの活用は非常に大きなメリットがあると考えています。今後も私たちの現場ではマッスルスーツを活用して、作業の安全について取り組んでいきたいと思っています。



製造業 での主な マッスルスーツ活躍シーン

1. 原料の積み下ろし
2. 製造時の原料投下
3. 完成した製品の積み込み
4. 中腰姿勢を維持する作業
(製品の仕分け、機器のメンテナンス、清浄作業など)

Interviewee



BASFジャパン
株式会社
浅野様



BASFジャパン
株式会社
大西様

お問い合わせ